

# どう進める大崎町のまちづくり

## 商店街の振興のため何が必要か協議する



坂元 正春 議員

上町・三文字周辺地域は、商店街や役場が集積する地域を「都市中心核」として位置付け、生活・商業・業務等の中枢機能の集積を図るとある。

この計画案に沿って、行政として町民が気軽に利用できる商店街づくりについて、商工会や店主と話し合いを持ったことはあるか。

### 商店街の振興に努力する町長

具体的に市街地開発に向けた取り組みはやっていない。



中央通りの七夕飾り

まずは、店主や住民で街をどうにかしたいという意欲が必要であり、提案をお願いしているが検討の段階に至っていない。

今後、いかに魅力ある商店街をつくっていくか協議をしていきたい。

### 校区・地域・集落の組織再生の考えは

坂元議員

高齢者が半数を超え、社会的共同生活の維持が、困難な集落が増えて

いる昨今、県が住民と協働で地域の活性化を示した「共生・協働型地域コミュニティ」近隣自治組織の再生について、町長の見解を示せ。

### 地域の体制づくりに努める町長

町長

本町の人口は減少の一途をたどっており、地域の活動など町の将来を担う人が不足する状態が予測される。高齢化社会、共働きなどの変化に伴い、校区・地域・集落の

組織体制にも変化が生じている。今後はいくつかの集落が一体となり、地域の体制づくりに努めることが最も大事と認識している。地方分権型社会の進展に伴い、住民と地方自治体が協力して地域の事は地域が決定し責任を負うことが求められており、校区・地域・集落

が一体となることが最も重要である。将来的には区制の導入など地域活動の体制づくりに努力する。

### 公約実現について問う

坂元議員

平成19年6月定例会で、「公約実現に向けて更に努力する。」という答弁であったが、その後、実現したもの、実現は不可能と判断するに至ったものの報告を求める。

### 実現化に向け更に努力する町長

町長

一期目の公約、「スー

パースタジアム・武道場構想」は、スポーツと観光に結び付ける目標があり、国や県の三位一体改革の厳しい中、事業計画の実現に至らなかったが、環境整備の中で今でも希望は持っており努力は続けたい。「ベテランクラブ構想」も高齢者の生涯健康、生涯現役社会の構築の実現に一定の成果は上げた。「産業公社の設立」としては実現に至らなかったが、農業関連機関が集合した農業振興センターを設置できたことで所期の目的は達成できた。「若者等の定住促進住宅」は、町有地を活用した分譲マンション、県共済住宅の譲渡により町営住宅12戸の整備ができ一定の目的は達成したが、十分とはいえず今後も町有地の分譲を行うよう努力したい。

二期目の「教育文化の充実」は、学校の施設整備について計画的に進めてきた。歴史上の史跡保

存活用の面が進んでいないので引き続き努力する。「活気あふれる産業の創出」の中で、農業の振興、農業基盤の整備は着実に進展した。商業の部分は十分とは言えず話し合い活動を持ちながら取り組んでいく。「安心して暮らせる福祉の町づくり」の中で、児童の通学路の整備については計画実施ができた。

### その他の質問

- 誘致企業の経済悪化に伴う雇用問題について
- 学校・家庭・社会教育の成果について
- 中学校の統合問題について
- 給食センターの民間委託について
- 給食費の滞納状況について